

那須純郎編  
輯

中等修身讀本

卷四

175  
6  
218

大日本教育會館		
一	〇	一
六册	五號	四架
一	八	函

東

K 110.1

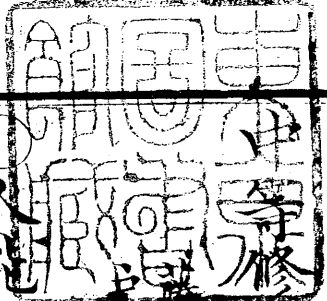
108

4

明治十六年四月開雕

# 中等脩身讀本

敢進堂藏梓



中等脩身讀本卷之四

澤南岳先生校閱

那須純一郎編

人能ク物ヲ聞キ覺ユル者ハ有レトモ。其味ヒテ能ク知ル人ナシ。味ヒテ知ラズシテ其理ヲ知ルコトナシ。正親町天皇勅  
①天ノ其人ニ禍スルハ天未ダ其人ヲ棄テサルナリ。禍ニ遇ヒ改メス。而シテ後之

中等脩身讀本 卷之四

ヲ棄ツ。天助ケ。人順フテ。興ラザル者アラ  
ス。天棄テ。人畔ヒテ。亡ビザル者アラズ。藤房

○天祖傳フル所ノ三種ノ神器歷然世ニ  
現存シ。天胤ト共ニ無窮ニ傳フル。天祖ノ  
誓言ニ違フコトナシ。天地ノ間萬國羅列  
スト雖曾テ神州ノ如キアルヲ聞カス。  
是レ神州ノ萬國ニ卓越スル所以ナリ。建

彝篇

○太平ノ氣象家々ノ樂ミ。都テ是皇恩量  
ル可カラズ。石天基

○善人ニハ用ヒラレ。不善人ニハ惡マル  
ル人ハ。必道ニ至ルベシ。大カタニアラン  
人ハ。人毎ニ思ハレテト。オモヘルニヨリ  
道ノ心ナク。其正シキ心ヲ失ヒテ。取ル所  
ナシ。藤言綱

○君子ハ難ヲ避ケズ。亦難ニ入ラズ。唯理ニ當ルノミ。避ク可カラザル所ニ於テ。避クルハ私ナリ。避ク可キ所ニ於テ。難ニ就クモ亦私ナリ。近思錄注

○災厄禍難ニ逢ヒタル時。惟悲歎スルノミニテ。之ヲ驅逐センコトヲ欲セザル者ハ懦弱ノ人ナリ。汝若シ。災難ニ逢フコトアラハ。剛膽ヲ張リ。之ニ抵抗シテ持堪ユベシ。

汝が災難ノ為メニ。淹没セララル、マデニハ許多ノ時日アルベケレバ。其間ニ。必救援ヲ得ル時機アルベシ。少年實

○孝ハ。譬へバ明鏡ノ如シ。夫レ鏡ハ物ニ應ジテ。之ニ映ストモ。其明一ナリ。夫孝ハ亦君臣父子。之ニ接スル方殊ナリト雖。往クトシテ。通セザル所ナシ。翁問答  
○人ノ惡ヲ語リテ。能ク之ヲ數フル者ト。

人ノ善ヲ聞テ。諫ム者ト。已ガ知ラザル人  
ノ善惡ヲ語ルト。此三ノ者ハ。天怒リテ。必  
亡ボスモノナリ。管長方

○貴ハ。聖賢為ルヨリ。貴キハナシ。賤ハ。耻  
ヲ知ラザルヨリ。賤シキハナシ。貧ハ。道ヲ  
聞カザルヨリ。貧キハナシ。富ハ。徳ヲ畜フ  
ヨリ。富メルハナシ。芳ヲ百世ニ流スヲ壽  
ト曰ヒ。志ヲ一時ニ得ルヲ。夭ト曰ヒ。貧ニ

シテ分ニ安ンゼザルヲ窮ト曰ヒ。士能ク  
道ヲ弘ムルヲ。道ト曰フナリ。程伊川

○赫々タル神州寶祚ノ隆ンナル。萬世自  
若。上下ノ分内外ノ辨。嚴乎トシテ。易フ可  
カラズ。藤田彪

○凡ソ。父兄師友ト道フベカラザル者ハ。  
為ス可カラザルナリ。凡ソ父兄師友ト為  
ス可カラザル者ハ。道フ可カラザルナリ。

喜ビニ乗ジテ。多言スベカラズ。快ニ乗ジテ。事ヲ易ドルベカラズ。人ノ聞クヲ無キヲ欲セバ。言フヲナキニ。若クハ莫シ。人ノ知ルヲ無キヲ欲セバ。為スヲ無キニ。若クハナシ。趙清獻公

○言行之ヲ聖賢ニ擬スレバ。則徳業自ラ進ム。名利之ヲ天命ニ付スレバ。則妄相自ラ消ス。報應ノ念。子孫ニ及ベバ。則事ヲ作

ス。自ラ厚シ。受享ノ慮。疾病ニ及ベバ。則心ヲ存スルヲ。自ラ淡シ。多言以テ尤メヲ招クハ。簡黙シテ。以テ情ヲ怡ハスニ如カズ。廣交以テ。譽レヲ延クハ。索居シテ。以テ自ラ全フスルニ如カズ。全括集

○人。日本古來ノ氣象ヲ固守シ。後廣ク外國ノ書ヲ讀ムベシ。大ニ得ル所アルニ庶幾カラン。唯務メテ。漢人ノ文辭ニ蠱惑シ。

彼レヲ華トシ。我ヲ夷トスルニ至ラザレ。

平田篤胤

○天運ノ運リ。本ニ反ルハ。自然ノ理ナリ。春盡キテ。運リ反リテ。復春トナル。夏秋冬モ。皆同シ。月モ日モ時モ。運リ運リテ本ニ回ルナリ。人ノ為セル善惡モ。其本ニ回ルナリ。筋ナキ財ヲ貪リ取レバ。亦筋ナキコトニ財ヲ失フ。竊ニ惡ヲ為セバ。顯ハニ罰

セラハル。其餘萬ノ事皆然リ。世ニ云フ。寐テ吐ク唾。身ニ掛ル理。謂ハユル。爾ニ出ルモノハ。爾ニ反ルモノナリ。父子訓

○孟子ノ曰ク。志士ハ。溝壑ニ在ルニ忘レズ。勇士ハ。其元ヲ失フニ忘レズ。言フ心ハ。義理ニ志アル士ハ。假令ヒ我カ身不幸ニシテ。餓テ溝壑ニ卧シ。顛ビテ死スルトモ。其時マデハ義理ヲ忘レズ。又義理ニ勇ム

士ハ。假令人ト戦ツテ。我が元ヲ失フトキ  
ニイタルト雖義理ヲ忘レズトヤ。士タ  
ル者ハ。必此語ヲ常ニ心ニ保チテ。失フベ  
カラズト。古人モ云ヘリ。人ノ命ハ重キモ  
ノナレド。義理ハ又命ヨリ甚重シ。故ニ生  
死ノ大事ニ臨ンテモ。義理ヲ忘ル可カラ  
ズ。大和俗訓

○或人ノ云ヘルハ。聖賢ノ書ヲ以テ。一ノ

師トシ。筆硯紙墨ト案ヲ以テ。五ノ友トシ。  
明ケ暮レ。是ニ交ハルハ。益アリテ樂多シ。  
又燈火ノ暗キヲ照シテ。晷ニ繼グモ。大ヲ  
ル寶ナリ。樂訓

○家ノ主トナリテハ。三族ヲ親ムベシ。三  
族ハ第一ニ父族。第二ニ母族。第三ニ妻族  
ヲリ。父方ノ一族ハ。本族ト云。先祖ヨリ傳  
ハレル。血脈同ジ。親疏ノ變ハリアレド。我



ト同氣ナルユエ。厚ク親ムベシ。父族ヲ厚ク親ムハ。是又先祖へ事フル道ナリ。次ニ母方ノ一族ハ。是父族ニ次ギテ。親ムベシ。次ニ妻ノ一族ハ。母ノ族ニ次ゲリ。三族ヲ親ム。其次第輕重斯クノ如シ。家道訓

○富デ仁義ナキハ。猶園中ノ鹿。欄中ノ羊ノ如シ。論衡

○花木ノ花ヲ賞翫スレバ。日除霜除ヲシ

テ。虫ヲ取リ。鳥ヲ威シテ。撫デサスラス計ニ。大事ニハスレドモ。肝腎ノ根ニ培ヒ。肥シテ入ル。道ヲ知ラネバ。色香ノ榮ヲ願ヘドモ。頓テ。枝葉モ枯レ。花モ萎ミテ。見事ナリシ一木モ。何時ノ間ニカハ。薪トナルコト。根ニ心ヲ著ケザリシ過ナリ。國用ノ盈虛。家産ノ貧富モ亦然リ。根ヲ忘レテ。枝葉ノ榮ヲ望ミ願フ心ヨリ。富ヲ求ムトセ

シ間ニ。イツノマニカハ。貧ニナリ行クコ  
ナリ。櫻鳴館遺草

○心ニ誠ナクシテ。榮フルモノナシ。故ニ  
善人ハ。第一ニ誠ノ心ヲ求メテ。外自ラ得  
ルモノナリ。愚カナル者ハ。外ヲ求メテ。誠  
心ヲ求メズ。是故ニ人ノ下流ニ立ツコトヲ  
免ガレズ。藤家隆

○徳餘リアル者ハ。其藝必精シ。藝ハ徳ニ

本ヅク。為スコトナクシテ名アリ。惟藝ヲ  
是務レバ。徳則至ラズ。苟モ其精ヲ極ム。世  
之ヲ貴バズ。汝ガ書ノ美ナラザルハ。自ラ  
視テ善カラズトス。徳人ニ若カザルハ。憂  
ルヲ知ラス。其大ヲ先ニシ。其細ヲ後ニス。  
大傳フベケレバ。人之ヲ棄テズ。幼儀雜箴  
○理ヲ知リテ。行フ者ハ。白晝ニ路ヲ見ル  
コト。分明ニシテ行クカ如シ。自ラ差錯ナ

シ。理ヲ知ラズシテ行フ者ハ。昏夜ニ見ル所ナクシテ。冥行スルガ如シ。或ハ偶マ路ト適會スルモノアリト雖モ。終ニ差ヒアルヲ免レザルナリ。續讀書錄

○凡ソ人怒ル時行フ所ハ。怒リ解クレバ。必ズ悔ユ。故ニ怒ル時ハ。自ラ禁スベシ。且ツ思フヲ勿レ。且ツ言フヲ勿レ。且ツ行フヲ勿レ。假令ハ。渡ラント欲スル者ノ如シ。

風順ナレバ。則チ行キ。逆ナレバ。則チ止ム。怒リ動キ。風逆ナル時ニ行クハ。險ナリ。怒リ息ミ。浪平ラカニシテ。後ニ行クベシ。畜徳録  
○人ノ常情多ク已レガ。能ニ矜リ多ク人ノ過ヲ言フ。君子ハ然ラズ。人ノ善ヲ揚テ已レガ善ニ矜ラズ。人ノ過ヲ許シテ。已レガ過ヲユルサズ。明太祖  
○人ノ世ニ在ルヤ。必ズ愛憎ノ私ナリ。是ヲ

以テ褒譽實ニ過ル者アリ。猜忌冤ヲ為ス者アリ。故ニ人ノ毀譽理ニ當ラザル者多シ。毀譽妄リニ信ズ可ラズ。古人曰ク。公論百年ニシテ。後定マルト。豈ニ然ラズヤ。慎思錄

○善ヲ行フノ人ハ。春園ノ草ノ如シ。其長ズルヲ見ザレドモ。日ニ増ス所アリ。惡ヲ行フノ人ハ。刀ヲ磨スルノ石ノ如シ。其損

スルヲ見ザレドモ。日ニ虧クル所アリ。叢詒集

○必容ルコトアレバ。徳乃大ナリ。必忍ブコトアレバ。事乃濟ル。一毫ノ心ニ拂ルコトアレバ。即勃然トシテ怒リ。一事ノ心ニ違フコトアレバ。即憤然トシテ發ス。是涵養ノカナシ。薄福ノ人ナリ。故ニ曰ク。人ノ詐リヲ覺ルモ。言ニ形ハサバレバ。限リナ

キノ味アリ。昨非庵日纂

○林深ケレバ。則鳥棲之。水廣ケレバ。則魚游ブ。仁義積メバ。則物之ニ歸ス。人皆災害ヲ畏避スルヲ知リ。仁義ヲ行ヘバ。災害ノ生ゼサルヲ知ラズ。夫仁義ノ道ハ。當サニ之ヲ思フ。心ニ在リテ。常ニ相繼ガシムベシ。若シ。斯須クモ。懈怠セバ。之ヲ去ルコト已ニ遠ク。猶飲食ノ身ヲ資クルガ如

シ。恒ニ腹ヲシテ。飽カシムレバ。乃其性命ヲ存スベシ。貞觀政要

○心ハ本虚ナリ。物ニ應ジテ迹ナシ。之ヲ操ル。要アリ。視ル。了之。カ則タリ。前ニ蔽ヒ交ハルトキハ。其中則遷ル。之ヲ外ニ制シテ。以テ其内ヲ安シズ。已レニ克テ。禮ニ復ル。久シクシテ誠アリ。視箴

○哲人ハ幾ヲ知ル。之ヲ思フニ誠ニス。志

士ハ行ヒテヲ勵マス。之ヲ為スニ守ル。理ニ  
順フトキハ。則裕カニ。欲ニ從フトキハ。惟  
危シ。造次ニモ。克ク念ヒ。戰兢自ラ持セヨ。  
習ヒ性ト成レバ。聖賢モ歸ヲ同フス。動箴  
○巧ニシテ。度ヲ好メバ。必攻メ。勇ニシテ  
問ヲ好メバ。必勝ツ。智ニシテ。謀ヲ好メバ。  
必成ル。愚者ハ之ニ反ス。是ヲ以テ。其人ニ  
非ザレバ。之ニ告レドモ。聽カズ。其地ニ非

ザレバ。之ヲ樹ユレドモ。生ゼズ。其人ヲ得  
レバ。沙ヲ聚メテ。之ニ雨スガ如ク。其人ニ  
非ザレバ。聾ヲ會シテ。之ニ鼓スルガ如シ。  
家語

○君子ハ。其已レニ在ル者ヲ敬シ。其天ニ  
在ル者ヲ慕ハズ。小人ハ。其已レニ在ル者  
ヲ措テ。其天ニ在ル者ヲ慕フ。君子ハ。其已  
レニ在ル者ヲ敬シテ。其天ニ在ル者ヲ慕

ハス。是ヲ以テ日ニ進ム。小人ハ已レニ在  
ル者ヲ措テ。天ニ在ル者ヲ慕フ。是ヲ以テ  
日ニ退クナリ。荀子

○韓魏公。范文正公。諸公ハ皆一片ノ忠誠。  
國ヲ為ムルノ心ナリ。故ニ其事業顯著ニ  
シテ。名望天下ニ浮動ス。後世ノ人私意小  
智ヲ以テ。自ラ其身ヲ持シ。而シテ事業名  
譽ヲ。前賢ニ比擬セント欲ス。難ヒ哉。薛文清

○君子ニ三ノ思アリ。察セズンバアル可  
カラズ。少シテ學バサレバ。長ジテ能ナキ  
ナリ。老テ教ヘザレバ。死シテ思ル、コナ  
シ。有ツテ施コサブレバ。窮シテ救ハル、  
コナシ。故ニ君子ハ。少シテ其長ヲ思ヘバ。  
則テ學ヲ務メ。老テ其死ヲ思ヘバ。則テ教ヲ務  
メ。有テ其窮ヲ思ヘバ。則テ施コシヲ務メヨ。  
家語

中等修身讀本卷之四終

中等修身讀本卷之四終

明治十六年一月廿三日  
全 年 二 月

出版權免許  
發行價六錢五厘

同治十三年三月四日製本歐式御屆

編輯人

赤澤藤士族

那須純一郎  
當時大坂府南區順慶町二丁目  
九番地寄留

出版人

大坂府平民

湯上市兵衛  
大坂府南區順慶町三丁目  
六十番地

弘通

書肆

大坂心齋橋二丁目  
大坂北久太郎町  
大坂 順慶町  
西京二條堀川  
東京 桶町  
大坂北濱二丁目  
熊本下通町

松村文海堂  
柳原積玉圃  
那須探海堂  
井上兵衛堂  
東 崖 兵衛堂  
東 崖 兵衛堂  
細流 舍



編輯 純邦 須郎

中等修身讀本

卷五

175  
6  
218

函一架一號

大日本教育會館		
一	〇	一
六册	五號	四架
		一八函

東

K110.1  
108  
5